

【別添2】（様式例2）

令和4年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立岐阜城北高等学校 学校番号 8

I 自己評価

1	学校教育目標	確かな学力、豊かな人間性、健やかな心身を育み、一人一人の個性を伸ばし、社会の変化に柔軟に対応し、社会に貢献できる人材を育成します。		
2	スクール・ポリシー	『育てたい生徒像』 グラデュエーション・ポリシー（GP） ・主体的に多様な人々と協働して学び、生きて働く知識・技能を身に付け、課題を発見し解決に取り組む生徒 ・心身の鍛磨を図り、個性を尊重し、奉仕の精神を養い、自らの役割と責任を果たせる生徒 ・社会の変化に柔軟に対応し、地域や社会の課題に取り組み、地域社会の発展に貢献できる生徒	『生徒をどう育てるか』 カリキュラム・ポリシー（CP） ・生徒一人一人がキャリアデザインを具体的に描き、自己実現が図れるよう、各学科の特色ある教育活動を推進し、専門性を深化させるとともに、キャリア教育を推進 ・「主体的・対話的で深い学び」を推進し、知識・技能を習得させ、他者と協働しながら課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等や主体的に学習に取り組む態度を育成 ・基本的生活習慣の確立と自他の生命を尊重する態度を育て、生徒一人一人の個性を伸ばし、深い学びを実現するための社会に開かれた教育課程の編成と個に応じた指導の実施	『どんな生徒を待っているか』 アドミッション・ポリシー（AP） ・基本的生活習慣が身に付いており、向学心を持ち、学校行事、生徒会活動、部活動などの活動に積極的に参加し、多様な人と協働して学ぶことができる生徒 ・進路実現に向かって継続的に努力し、多様な学びや資格・検定、コンクールに主体的に取り組む、自らの可能性を拓く意欲のある生徒 ・部活動でスポーツ活動または文化活動で優れた能力を有し、入学後も継続して活動する意欲のある生徒
3	評価する領域・分野	◇2年学年会		
4	現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	・7月の学校評価アンケートを見ると、保護者も生徒も全体的に学校の指導に対して昨年より良い印象を持っていた。特に、教職員の対応や指導の仕方については高ポイントを獲得できていることがわかる。 ・この数年のコロナ禍で生徒の安全・健康維持のために講じてきた対策や学習支援においても、十分に信頼感をもってもらえている		
5	今年度の具体的かつ明確な重点目標	◇岐阜城北高校を支えるべき中堅学年としての自覚と責任を強く持ち、自己管理能力を身に付け、望ましい生活習慣を確立する。 ◇落ち着いた日常生活を送る中で、自己の目標の実現に向けて着実に努力する姿勢を養う。		
6	重点目標を達成するための校内における組織体制	・学年会 ・生徒指導を始めとする各分掌との連携 ・総合学科長、生活デザイン学科長との連携		
7	目標の達成に必要な具体的な取組	8 達成度の判断・判定基準あるいは指標		
(1) 出席状況の把握と保護者との連携 (2) SHRなど授業時以外の時間の巡回指導や言葉かけ (3) 学年集会や書面による学年全体への共通の指導		(1) 欠席・遅刻状況 (2) (3) 生徒の意識・行動		
9	取組状況・実践内容等	10 評価視点	11 評価	
・安易な欠席や遅刻について、その都度指導を行うよう努めた。 ・欠席や遅刻を繰り返す生徒の状況確認を、担任と密に連絡を取りながら電話や懇談などを丁寧に行い、保護者に改善の協力を求めた。 ・学年集会時だけでなく、生徒の様子を見ていて気付いたことや伝えたい思いがある時には、その都度学年全体に主任の言葉で文書を配付した。		①中堅学年としての自覚と責任を強くもたせるために継続的な指導ができたか。 ②生徒の情報を共有し、家庭との連携を密にできたか。 ③落ち着いた日常生活を送り、自己の目標の実現に向けて努力できるような支援ができたか	A (B) C D A (B) C D A (B) C D	
12	成果・課題	総合評価 A (B) C D		
13 来年度に向けての改善方策案 ・今年度同様、家庭や生徒指導部との連携を密にし、情報を共有して生徒理解に努めていく。 ・進路実現にむけて明確な目標をもたせ、落ち着いた学校生活が送れるような態度を養わせる。				

II 学校関係者評価

実施年月日：令和 年 月 日

【意見・要望・評価等】
・
・
・